

家の浸水を防ぐ！！！！

◆土のうの設置

浸水発生時には土のうを設置することで、家屋内への雨水の浸入を抑えることができます。

また、テーブルやボードなどの長い板状のものを出入口に設置することで、浸水を防ぐことができます。



土のう袋がなくても、家庭にあるものを工夫して浸水を防ぐことができます。

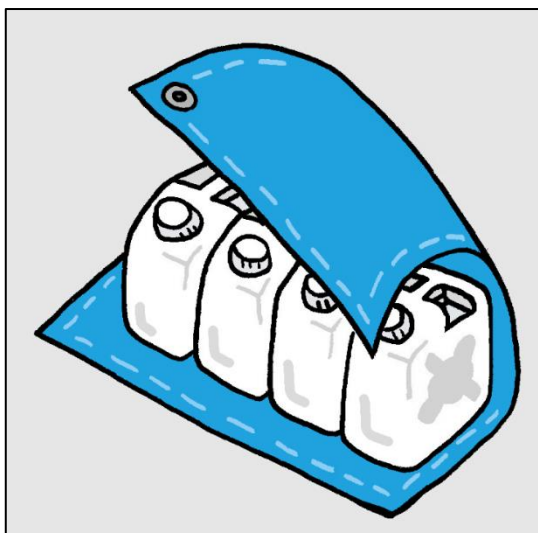


◆簡易水のうちとダンボールを使った工法

40リットル程度の容量のごみ袋を二重にして中に半分程度の水を入れて閉めます。ごみ袋の強度に不安があれば重ねる枚数を増やします（買い物用のポリ袋でも代用できます）。

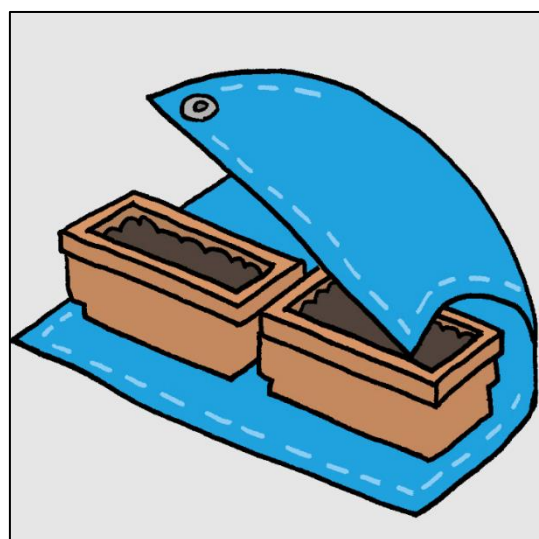
作成した水のうちを段ボール箱に詰め、レジャーシートなどで包みます。

出入口などに隙間のできないように並べます。



◆ポリタンクとレジャーシートを使った工法

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートなどで包み、出入口などに並べて使用します。



◆プランターとレジャーシートを使った工法

土を入れたプランターをレジャーシートなどで包み、出入口などに並べて使用します。

このほか、令和5年7月の大雨災害では、布団を使って浸水を最小限に食い止めたという報告がありました。いざという時には身近なものを使って対策をとることも重要です。

今回の大雨で床下浸水や土砂の流入による被害を受けた住宅がたくさんありましたが、住宅の基礎部分にある換気口をふさいだり事前に対策を講じていれば、被害を避けられた可能性もあったのではと考えられます。

いま一度ハザードマップを確認し、危険なエリアに該当する方は、もしもの時のために日頃から対策をとるように心がけましょう。